

高浜発電所3号機の定期検査開始について

2023年9月14日
関西電力株式会社

高浜発電所3号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力87万キロワット、定格熱出力266万キロワット）は、2023年9月18日から約4ヶ月の予定で第26回定期検査を実施します。

定期事業者検査を実施する主な設備は、次のとおりです。

原子炉本体
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
原子炉格納施設
その他発電用原子炉の附属施設

以上

<添付資料>

高浜発電所3号機 第26回定期検査の概要

高浜発電所3号機 第26回定期検査の概要

1. 主要工事等

高感度型主蒸気管モニタ他取替工事 (図-1参照)
電子部品の製造中止等に伴う保守性向上の観点から、放射線管理施設プロセスモニタリング設備のうち高感度型主蒸気管モニタ(3台)および同モニタが接続されている盤を含む放射線監視装置信号処理盤(3面)を取り替えます。

2. 設備の保全対策

2次系配管の点検等 (図-2参照)
当社の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管520箇所について超音波検査(肉厚測定)を実施します。
また、過去の点検において減肉傾向が確認された部位12箇所、配管取替え時の作業性を勘案した部位4箇所、合計16箇所を耐食性に優れたステンレス鋼または炭素鋼の配管に取り替えます。

3. 燃料集合体の取替

燃料集合体全数157体のうち65体(うち、64体は新燃料集合体)を取り替える予定です。

4. 今後の予定

原子炉起動、臨界：2023年12月上旬
調整運転開始：2023年12月上旬
本格運転再開：2024年1月上旬

なお、定期検査の作業工程については、別紙を参照ください。

以上

図-1 高感度型主蒸気管モニタ他取替工事

工事概要

電子部品の製造中止等に伴う保守性向上の観点から、放射線管理施設プロセスモニタリング設備のうち高感度型主蒸気管モニタ※¹（3台）および同モニタが接続されている盤を含む放射線監視装置信号処理盤※²（3面）を取り替えます。

※¹：蒸気発生器伝熱管から1次冷却材の漏えいが発生した場合に早期に検知すべく、主蒸気管での放射線量の上昇を高感度で検出する装置。

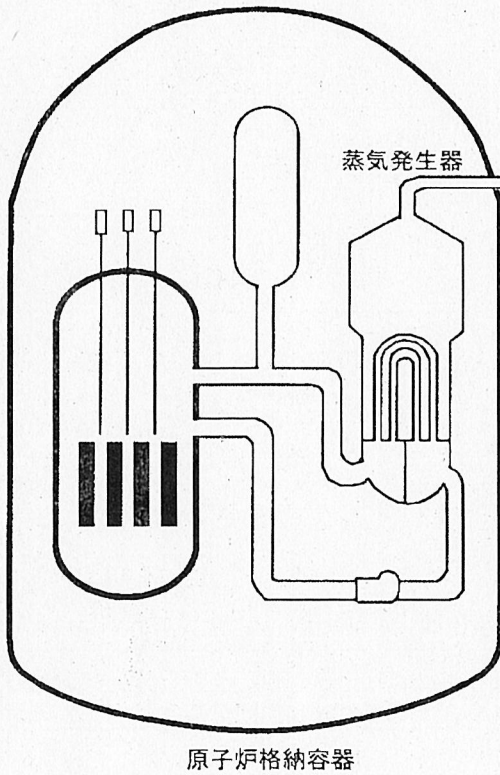
※²：放射線量を計測する検出装置から送られる電気信号を線量当量率等に変換し表示させる処理盤。

また、線量当量率等の上昇を検知した際には、警報を発信させる装置。

放射線監視装置信号処理盤は6面あり、このうち高感度型主蒸気管モニタ3台が接続されている盤を含む合計3面を取り替え。（残り3面は今後の定期検査で取り替え予定）

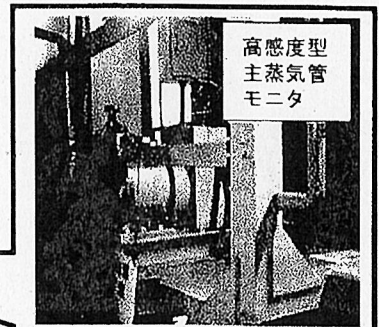
概要図

： 工事範囲内



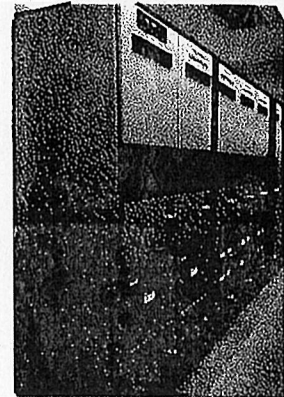
高感度型主蒸気管モニタ※¹

主蒸気管モニタ



高感度型主蒸気管モニタ検出装置※²

： 今定期検査対象
： 今後の定期検査対象



放射線監視装置信号処理盤

エリアモニタ検出装置

プロセスモニタ検出装置
(水、ガス、じんあいモニタ)

放射線監視装置信号処理盤

※¹ 各蒸気発生器（計3台）の主蒸気管に1台ずつ設置

※² 3台の検出装置からの電気信号は、1面の放射線監視装置信号処理盤で処理される。

高浜発電所3号機 第26回定期検査の作業工程

別紙

2023年9月18日から以下の作業工程で実施します。

